



発信日：2019年8月23日(金)
全国大学生生活協同組合連合会
東京ブロック
学生委員長 皆川淳哉

新学期スタート交流会2019

重 要

東京ブロック会員生協

専務理事・組織委員長 各位

開催概要

名 称：新学期スタート交流会2019

位置づけ：○新学期活動に取り組む意味を改めて考える場

○ブロック全体で、2019年の成果・課題、2020年度の
方針について確認する場

○2020年の新学期に向けた準備をスタートする場

日 時：2019年7月6日(土)12:00～17:50

場 所：東京工業大学 大岡山キャンパス 70周年記念講堂

獲得目標：東京ブロック会員生協の2019新学期活動の取り組み事例
を知り、大学生協のすすめる新学期活動の意義を確認し、
2020新学期活動に生かせるようになる

○新学期活動に取り組む意味を改めて考える

○2020新学期活動の方向性のヒントを得る

○職員・学生と一緒に2020新学期活動に取り組む必要性
を考える

運営体制：企画責任者：久保 日菜子(2019年度東京ブロック副学生委員長)

事務責任者：皆川 淳哉 (2019年度東京ブロック学生委員長)

参加対象：東京ブロック会員生協の中で、2020年度新学期活動に
関心のある人

○学生委員

○サポートセンター学生スタッフ

○生協職員

○その他専務理事の認める者

※1年生も含めて、2020年度新学期に
各会員で主体的に取り組むメンバー
を対象とします。



参加者数

50 会員 411 名(事務局含)

南エリア 慶應・海洋・農大・東工・明学・首都大・和光・桜美林・横国・横市・芝浦
総武エリア 東大・理科大・電機・千葉商・千葉・東邦・お茶・武蔵・日女・東洋・大東
埼玉・跡見・十文字
武蔵野エリア 早稲田・法政・インカレ・工学院・外語・東経・一橋・学芸・電通・農工
津田塾・白梅・日社・明葉
北甲エリア 新潟・信州・長野・群馬・宇大・茨大・高経・茨城キリスト・松本

当日内容

全体会

全体会では、新学期活動に取り組む意義や、2019年度の新学期総括を提案した後に、2019年度の取り組みを宇都宮大学生協・一橋大学生協の職員・学生から事例発表をしていただきました。その後に2020年の度新学期方針を提案して全体会を終えました。

【以下参加者の声】

「夏合宿で入学準備説明会で話す内容を昨年のアンケートを基によりよいものにしたい」(千葉商2年)

「自大学の生活を考え、何をどうやって使っていくのか、それがなぜ必要なのかを考える。」(和光1年)



←全体事例発表の様子

分科会①

分科会①では、2019年度の活動を基に、「上級生の言葉で、大学生活4年間をまるごと伝えているところ①・②」「大学生活の分析を行い、大学生活紹介・商品提案に結び付けているところ」「学生、職員との連携・互いの強みを活かしているところ」の4つの分科会で、事例を基に新学期の活動の良いポイントを学びました。

各分科会で2会員生協の事例を聞くことができ、参加者としてもたくさん持ち帰ることができていたようでした。

【以下参加者の声】

「上級生からの生の言葉が一番新入生に響く。さらに学生委員の学年を超えた協力が必要。それらをサポートしていけたらいいと思う。」(日社生協職員)

「自大学のまるごとアンケートは一年生向けに作られ、対象も一年生が多いため学内全体のニーズを集めることができているか怪しい。様々な学年の様々な学生に回答してもらえるように改善していくことが必要だと感じた。」(茨城2年)



↓分科会①の様子↑



分科会②

分科会②では、新学期で大学生活に沿った提案をするための分科会となっており、「入学後の生協利用」「目標を持って過ごす大学生活」「入学後のリスクに備えて」「大学生活での過ごし方」「学びのスタイルupdate」と5つの分科会を設けました。

班ごとに交流をしながら行う分科会や、会員生協の事例発表を基にした分科会などがありました。

【以下参加者の声】

大学生活で自分の気づけなかった点や、今後の目標が定まっていない悩みを解決するためにもSEQといったものや、自分を知るためのセミナーなどを開くのもいいんじゃないかと思いました。」(桜美林1年)

生協を利用してもらうためには、知らせることが大切だと思う。特に、「なんで生協なのか」ということや大学生活と生協のかかわり方を新入生に理解してもらう必要がある。」(東洋3年)



←分科会②の様子

会員別の時間

会員別の時間では、2020新学期活動を会員全体で進めることを意思統一して、学生と職員が協力して目指していくもの・どう進めていくのかを確認する時間として設けました。

各会員生協の中で2020年度の新学期をがんばるために今何をすべきなのか。新学期スタート交流会2019から帰った後に何をすべきなのかをワークシートに沿って考えていました。

【以下参加者の声】

「現在3年生ということもあり、学生委員自体はもう引退してしまっているのですが、入学準備説明会やサポセンなんかには関わっていけないのではないと思う。」

(高経3年)

「2020年の新学期では、入学前に新入生の不安を解消し、大学生活一日目からよりよい生活を送ってもらうようにする。」

(法政2年)



↑会員別の時間の様子

新学期スタート交流会2019に関する質問などは
事務責任者：皆川淳哉【Minagawa.Junya@univ.coop】までご連絡ください。